09.05天白区総合防災訓練

2004年9月5日、9時より天白区植田中央公園にて「天白区総合防災訓練」が行われました。

直前まで降っていた大雨により、当初予定されていた住民参加型の訓練は中止されましたが、植田学区、植田南学区、植田北学区の住民や、天白区役所、天白消防署、上水道局をはじめとした関係諸機関による大規模な防災訓練でした。

私たち「天白でぃぷり」としては、天白区社会福祉協議会とともにひとつのブースを担い、災害時のボランティアセンター立ち上げについての相談と学習、非常用持ち出し袋の展示説明、地震についてのクイズなどを実施しました。

偶然にもこの日の夜、天白川の警戒水域を越える大雨が降り、２度の大きな地震も発生。近づく台風とあわせ、防災への意識が否応なしに高まる１日となりました。

↑「地震博士クイズ」全問正解者には、非常用のホイッスルを進呈しました。

あなたの家は大丈夫ですか？

阪神・淡路大震災で亡くなった方の多くは、建物の下敷きになった方々でした。特に、昭和５６年の建築基準法改正よりも前に建てられた家は、大きな地震で全壊する可能性が高くなるそうです。古い家では、必ず耐震診断を受け、地震に耐えられるよう改築することが大切です。

名古屋市では、昭和５６年５月３１日以前に着工された、２階建以下の木造の建物（名古屋市内にあり、実際に住んでいることが条件）については、区役所で申し込みをすれば、耐震診断を無料で受けられるとのことです。また、それ以外の建物についても、住宅都市局の耐震対策係に申し込みをすれば、図面による専門家の耐震診断を受けられます。

その結果、耐震改装工事が必要ということであれば、設計建築士により、安全基準を満たすまでの工事を行うという条件で、耐震工事費用の１／２（上限６０万円）が補助として出ます。

お問い合わせは･･･

名古屋市 耐震対策係（０５２）９７２－２９２１

最近、市の職員を装って、「耐震診断・対策をする」といってお金を騙し取るという悪徳商法の被害があるそうです。

市の職員が、申し込みがない家庭に耐震対策の勧誘の電話をしたり、訪問したりすることはないそうですので、気をつけましょう！

今後の活動予定

２００４年

10月24日（日）天白区福祉区民のつどい

11月27日（土）
ふれ愛ネット天白交流会（起震車体験等）

２００５年

１月15日（土）～16日（日）
阪神・淡路大震災１０周年記念事業
（第２回勉強会）

３月（日程未定）第３回勉強会（有料）

６月（日程未定）天白でぃぷり総会

※　その他、定例会・役員会など

･･････一緒に活動しませんか？･･････

「正 会 員」　年 会 費 1,000円

定例会・総会・臨時総会等への出席、
勉強会等の企画をします。

「賛助会員」　１口(年間) 1,000円

季刊紙（年４回）をお届けします。
勉強会等の案内をお届けします。

天白でぃぷり事務局

〒468-0015名古屋市天白区原一丁目３０１番地
原ターミナルビル３Ｆ天白区社会福祉協議会内

TEL：０５２－８０９－５５５０
FAX：０５２－８０９－５５５１
E-mail：dipre-pr@freeml.com
ホームページ
http://19800.net/dipre

（QRコード）

※　ＱＲコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。ＱＲコード対応の携帯端末で情報を読み取れます。